

戸倉城(駿東郡清水町徳倉)(本城山公園)

戸倉城(とくらじょう)は、伊豆国(現在の静岡県駿東郡清水町徳倉)にかつて存在した城である。伊豆国と駿河国の国境にあり、現在は駿東郡に属しているが、戦国時代この城が存在していた時代は伊豆国に属していた。

戦国時代に北条氏綱が築いたといわれる。伊豆と駿河の国境を守る城として重視された。三国同盟が破れた後、1568年(永禄11年)から1571年(元亀2年)にかけて武田氏と北条氏との戦いの舞台となった。1581年(天正9年)に北条の城将だった笠原政堯が武田氏に寝返り、戸倉城は武田氏の城となった。1582年(天正10年)に武田氏が滅亡した後は再び北条氏のものとなった。1590年(天正18年)豊臣秀吉の小田原征伐が始まると、北条氏の城兵は戸倉城を捨て、韮山城や中山城に撤退した。

現在では戸倉城が築かれた小山を本城山と呼び、山頂部が本城山公園として整備され展望台が置かれている。

Wikipedia による

